



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成31年3月22日 No. 27

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

【三学期終了、そして1年間お疲れ様でした！】

- 今日は修了式、三学期が終わると同時に1年間の学年の全過程を修了する日です。修了証書を一人一人に渡しましたが、1年生は1年生として、2年生は2年生として、その学習内容を含む「全ての教育課程を習得しました」ということです。そのうえで、4月からは2年生と3年生にそれぞれ進級します。が・・・、あなたは本当に大丈夫ですか？ 積み残しはありませんか？



学習内容はいっぺんにとはいかないにしても、進級後も意識次第で頑張ればできる事はしっかりとやってほしい！ 服装や頭髪などの身だしなみや挨拶・言葉づかいなどは、より高いレベルを目指してきちんとしていくべきです。

卒業した先輩方は、必ずといっていいほど、いつもこの進級した時期のことを話題にします。変わるチャンスをみすみす自分から放棄する人がいるからです。このチャンスを逃すと、なかなか自分を変えるのは難しいです。二学期になってから、三学期になってから、とずるずる後回しにしては、結局何もできないという人が例年少なくありません。

「自分は大丈夫！」と思っている人、皆そうなんです。1年間の修了と進級するにあたり、ぜひ何か一つでも二つでも成長してください。卒業生の体験談から、

きちんとしなければならぬ時に、きちんとできるかどうか。

節目節目に、服装・身だしなみをきちんとすることにプライドを持てるかどうか！

それが最終的には進路を決めるポイントなるとも言われています。

約2週間後はいよいよ新年度のスタートです。卒業後の進路を本気で考えなければならない3年生や、中堅学年としての基盤づくりをする2年生になる年です。今まで以上に「責任と自覚」が必要になります。

その準備を、この2週間でしっかりとしておこう。1年間、本当にお疲れ様でした。



【平成31年度 一学期始業式は4月5日（金）です！】

- 8：25までに登校
- 上靴などを忘れないように。 ※ **きちんとしたスタートで、1年間が決まる！**

【今日は離任式も行われました。転出される先生方、お世話になりました！】

- 先日からお知らせしていますように、今年度も離任式を今日22日（金）の修了式後に行いました。少し早いお別れとなりますが、転出される先生方のお名前のみを下記にご紹介します。



3月31日をもって飛幡中を離任される先生方

（転出先は4月1日の新聞発表にての確認となります。）

- ・竹内 学 先生（教頭）
- ・緒方 英一 先生（指導教諭）
- ・松山 英夫 先生（2年副任、理科）
- ・潮崎 妙子 先生（3年主任、理科）
- ・山縣 正徳 先生（生徒指導主事、保健体育）
- ・堀 将茂 先生（進路指導主事、国語）
- ・藍野 大貴 先生（3年5組担任、社会）
- ・熊野 真奈美 先生（養護教諭）
- ・宗岡 百合香 先生（1年副任、保健体育）
- ・宗像 祐典 先生（1年2組担任、数学）
- ・松田 伊都子 さん（学校事務）
- ・西村 侑子 さん（学校事務）
- ・豊田 麻希 さん（学校図書館職員）

この度の人事異動で、飛幡中学校を支えていただいた13名の先生方が転任されることになりました。これまでの卒業生や在校生にたくさんの愛情をもって、優しく、時には熱心にご指導をしていただきました。おかげ様で、生徒たちは明るく元気に登校し、充実した学校生活を過ごすことができている。本当にありがとうございました。先生方とのお別れは本当に寂しい限りですが、ご健康と次の勤務先でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

1年間ありがとうございました。

○保護者・地域の皆様、今年度も本校の教育方針にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。おかげ様で本日、無事に修了式を迎えることができました。飛幡中は今年度、特に環境整備に力を入れて取り組み、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送ることができています。学力・体力向上に向けての様々な取組も継続中で、数年後には必ず何らかの成果が表れてくると信じています。

（3年生は素晴らしい入試結果でした。）

来年度も、あたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

飛幡中職員一同

鏡

鏡とはありがたい。いかなる時でも、まぎれもない自分を映してくれる。暮らしの中で鏡が無ければどれほど不便であろう。自分の身ごなしが望ましい姿かどうかを映し見るために、鏡は不可欠な物である。

自分を映すという点では、お互いの心も鏡に似ているのではなからうか。人と人が交流する際、感応しあうのが人間というもの。己の傲慢なふるまいは相手の傲慢を呼び、謙虚なふるまいは相手の謙讓けんじょうを惹起じゃつきする。

時に一方的な思い込みはあるものの、相手が自分に抱いている感情は、自分がその相手に抱いている感情が何かしか投影されているとは言えまいか。だからこそ礼節を尽くせば、礼節を尽くされる。まさに鏡の如くなのである。

人として生きることとは、いかに他人とともに生きるかでもある。他人に誠実でありたいと望むなら、何が正しいのかを問いつつ、常に自分を省みる努力が求められよう。その試みのために、相対する人のふるまいをわが姿見として、みずからを律したい。

(PHPより)

※ 惹起（じゃつき）：事件・問題などをひきおこすこと。